

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	8 (7)	成年後見制度は、職員が外部研修や内部研修をおこなう、事業所にパンフレットを設置する、市の案内相談を掲示するなど理解と啓発に努めているが、その他の日常生活自立支援事業を把握できていない。	職員が日常生活自立支援事業を理解し、適切な相談支援がおこなえる。	日常生活自立支援事業を実施している機関に行き、事業の把握と、内部研修で職員に周知、また、啓発のために地域住民が参加する運営推進会議で勉強会をおこなう。 3月
2	10 (9)	2ヶ月に1回、意見・要望書を各家族に郵送して、意見を引き出す努力をしている。運営推進会議においても聞いているが、感謝の言葉のみで運営に関する意見は出ない。	入居者や家族、地域住民や市職員の意見を取り入れ、事業所の運営に活用できる。	オープンな質問ではなく、職員で話し合い、課題が上がるような、具体的な質問を意見・要望書、運営推進会議で発信していく。 12月
3				月
4				年
5				年